

消防団だより

主な記事内容

- 消防団長年頭挨拶・・・・・・・・・・P2
- 令和7年大船渡市消防出初式・・・・P3
- 令和6年度大船渡市消防操法競技会・P4
- 令和6年度大船渡市防災訓練・・・・P5
- 消防団員募集・・・・・・・・・・P6

地域を守る消防団



～2024年度全国統一防火標語～

『守りたい 未来があるから 火の用心』

消防団長年頭挨拶

大船渡市消防団消防団長 大田昌広

令和7年の新春を迎え、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

大船渡市消防出初式におきましては、伊藤市議会議長様を始め、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、また、日頃から我々消防団の活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜っておりますことに、重ねて御礼を申し上げます。

分列行進においては、威勢のよいまとい振りを皮切りに、高らかに響くラップ隊の吹奏に合わせ、整然とした分列行進を、11月から長期にわたり厳しい寒さの中、訓練に励んでこられた、まとい組員、ラップ隊員には、敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、当市における火災件数は、抑止目標10件のところ7件に抑えられ、目標を達成することができました。火災予防にご協力いただいた皆様に、厚く御礼を申し上げます。

また、5月に発生した林野火災では、水利の乏しい現場への長距離中継送水を見事に成功させ、被害の拡大を阻止するとともに、足場の悪い海岸線を歩き、水のうによる残火の消火活動に御尽力いた

だき、深く感謝いたします。この活動を通じ、大船渡市消防団の団結力と使命感の強さを改めて感じ、「義勇愛郷」の精神が継承され、根付いているものと確信しております。

今後発生が予測される南海トラフや、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備えとして、地域防災を担う消防団と常備消防が強く連携を図ることが不可欠であります。我々は、東日本大震災の教訓を風化させることなく、訓練を通じて災害対応力をさらに強化し、地域防災の中核として地域との連携を深めていく決意であります。

結びに、新しい一年が大きな災害も無く、穏やかで安らぎのある年でありますようにご祈念申し上げますとともに、皆様方とご家族のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。



消防団幹部名簿

役職	氏名
消防団長	大田 昌広
副団長	管野 優
副団長	佐々木 正人
副団長	千葉 繁規
本部長	小坪 智幸
副本部長	菊地 正洋
1分団長	伊勢 徳雄
2分団長	栗村 一真
3分団長	永澤 幸喜
4分団長	紀室 学
5分団長	藤原 淳
6分団長	金野 貴浩
7分団長	田村 清輝
8分団長	吉田 秀樹
9分団長	新沼 豊隆
10分団長	村上 卓志
11分団長	窪田 将浩
12分団長	木村 勉

新入団員名簿

所属	氏名	所属	氏名
団本部	岡田 彩花	6-1	千葉 陽介
1-2	井上 拓哉	6-2	熊上 葵隼
1-3	伊勢 彩人	7-2	千葉 成翔
1-4	水田 瑛伸	7-3	千葉 俊明
1-4	佐々木 拓真	7-3	志田 夢沙思
2-2	須賀 景一	8-1	今野 史楓
2-3	三浦 賢成	8-2	千葉 脩世
4-1	金野 義和	8-3	千葉 想天
4-3	及川 和希	8-3	東 和人
4-3	大磯 貴明	9-4	佐々木 大輔
4-5	高 澗 将	9-4	田中 湧太
4-5	濱守 海斗	10-1	新沼 宥人
5-1	上野 碧空	10-3	上野 翼
5-1	平子 千寛	10-3	道畑 大輔
6-1	林 優太	12-2	佐藤 海星

合計 **30名** 入団

令和7年1月末現在

～1年のあゆみ～

2024年 (令和6年)

- 4月 1日 団幹部辞令書交付式
- 4月18日 ラップ隊辞令書交付式
- 6月23日 大船渡市消防操法競技会
- 7月 7日 気仙地区支部消防操法選考会
- 7月13日 令和5年度大船渡市消防団幹部退職者送別会
- 7月28日 岩手県消防操法競技会
- 9月19日 全国女性消防団員活性化とちぎ大会
- 9月29日 気仙地区支部初任団員現地教養まとい組辞令書交付式
- 11月 1日 予防研修会
- 11月 2日 総合教養
- 11月 8日 岩手県消防学校
- ～10日 消防団員専科教育警防・機関科入校
- 11月17日 大船渡市防災訓練
- 11月29日 岩手県消防学校
- ～30日 指揮幹部科現場指揮課程入校
- 12月13日 岩手県消防学校
- ～14日 指揮幹部科分団指揮課程入校

2025年 (令和7年)

- 1月 5日 大船渡市消防出初式
- 1月29日 団本部夜警視察 1回目
- 2月12日 団本部夜警視察 2回目
- 3月 5日 令和6年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式
- 3月26日 令和6年度岩手県消防表彰式

令和7年大船渡市消防出初式

1月5日(日)、令和7年大船渡市消防出初式が挙行されました。盛町商店街では、まとい組を先頭に消防職団員466名、消防車両34台がラッパ隊の吹奏に合わせ威風堂々として行進し、大勢の観衆より温かい声援を受けました。リアスホールでは式典が行われ、大船渡市長より年頭挨拶、菅野消防

長年頭諭告、大田消防団長年頭訓示、そして、伊藤市議会議長、千葉県議会議員よりご祝辞を頂きました。また、無火災分団、ラッパ隊、まとい組への表彰を行いました。最後に参加者全員で三本締めを行い無火災達成と市民の安全を祈願しました。



大船渡市長表彰

○4期間無火災達成
第3分団

○2期間無火災達成
第7分団

第9分団

第10分団

○1期間無火災達成
第2分団

第4分団

第6分団

第8分団

第12分団

○ラッパ隊員功労証

第3分団 団員 黄川田悠介

第11分団 団員 塩原 健作

○まとい組員功労証

第1分団 団員 村上 翔

第2分団 団員 新沼 柁希

第3分団 班長 久保田 統

第4分団 団員 川原 雅之

第8分団 団員 飯田 航

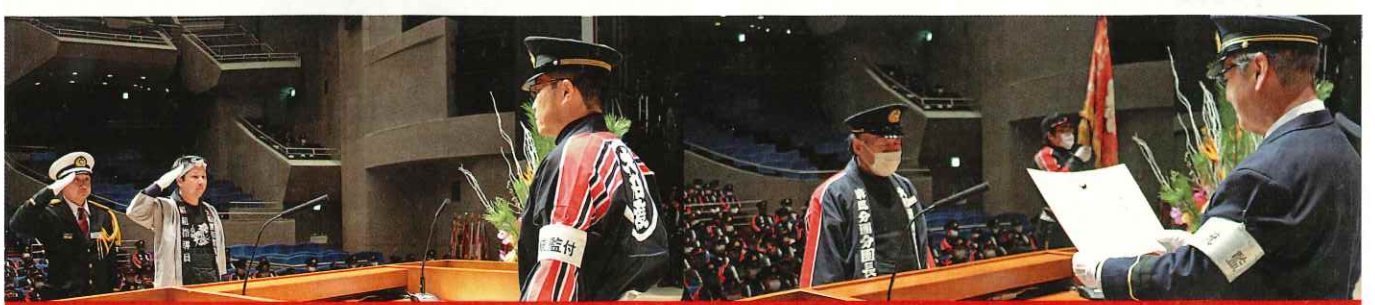
第9分団 団員 鈴木 大介

第10分団 団員 佐藤 貴英

第11分団 団員 砂金 純一

熊谷 優汰

富美町分団センター TEL 25-1234



令和6年度 大船渡市消防操法競技会

大船渡市消防操法競技会が令和6年6月23日(日)に株式会社阿部長商店大船渡食品向かいの県有地で開催されました。

ポンプ車の部は12台、小型ポンプの部は11台が出場し、訓練の成果を遺憾なく発揮しました。

競技結果は、ポンプ車の部は第3分団第2部(大船渡町下船渡・宮ノ前)、小型ポンプの部は第5分団第1部(赤崎町長崎・外口)が優勝となりました。



令和5年度大船渡市消防団幹部退職者送別会

令和6年7月13日(土)まるしちザ・プレイスを会場に「令和5年度大船渡市消防団幹部退職者送別会」を開催いたしました。長きに渡り消防団

活動に尽力し、退職された消防団幹部の皆様に対して、大田消防団長より感謝状と花束を贈呈いたしました。

令和5年度退職者

前第2分団長	新 沼 裕	一様
前第3分団長	久保田 健	治様
前第4分団長	滝 田 寛	明様
前第5分団長	志 田 剛	史様
前第6分団長	佐々木 晋	一様
前第7分団長	川 内 利	誉様
前第8分団長	佐々木 聡	様
前第10分団長	佐々木 淳	様
前第12分団長	小 坪 信	哉様



消防団総合教養

令和6年11月9日（土）

全分団の部長・班長・団員（機関員）を対象に総合教養として安全管理、現場指揮、長距離中継送水訓練を実施しました。旧吉浜中学校から白木沢川自然水利付近を会場に複数の分団が同時に訓練することで、垣根を超え情報共有を図りました。

長距離中継送水訓練では、令和6年5月26日に発生した三陸町越喜来地内の林野火災を想定した約500メートルのホース延長を実施し、火災対応能力の向上に努めました。



令和6年度大船渡市防災訓練

令和6年11月17日（日）

平成23年に発生した東日本大震災や令和4年に岩手県が公表した最大クラスの地震・津波と同程度の災害を想定して、住民の安全確保・消防団員の安全管理や地震、津波発生時の安全かつ迅速な避難誘導體制の確立と、防災関係機関相互の連携・協力体制の確認を目的として防災訓練が市内各地で実施されました。

また、各分団で吸放水訓練なども併せて実施し、市内全域で災害に強い町づくりに取り組みました。



防災講習（第10分団）

令和6年11月5日（火）

大船渡市立綾里小学校で「防災講習」が開催され、第10分団の消防団員12名が参加しました。

村上卓志第10分団長が、「火事が起きたらどうしたらよいか、登下校の時に大地震が発生したらこの避難場所に避難すべきかを家族と事前に相談しておくこと。」など、地域の実情に沿った内容を講話しました。

講話後には、火災を想定して消防団車両から梯子車への中継送水訓練を実施しました。



→講話を担当した
村上第10分団長

大船渡市消防団消火器訓練指導

10月20日に猪川地区公民館、10月27日に立根町久保地域公民館、11月17日に大船渡町平町内会、末崎町碓石公民館から消火訓練指導の要請があり、各地区の消防団員が参加し地域住民の方々に消火器の取扱いや消火方法などについて指導を行いました。

今後も消防団では、地域公民館や自主防災組織等が主催する防災訓練において、消火訓練の指導を行っていきます。



《女性消防団員活性化とちぎ大会》

活動紹介や意見交換を通じ、連携を深めることを目的とし「全国女性消防団員活性化大会とちぎ大会」が開催され、当市より3名の女性消防団員が参加しました。

《おおふなと防災フェア》

おおふなと防災フェアでも女性消防団員は大活躍！例年参加していますが、今年度は、救急講習と地震体験を担当、来場していただいた大勢の市民の方々と防災学習を通して楽しい学びのある交流ができました。



消防団員募集中

～あなたの力で災害に強い街へ～

消防団とは

消防団は、「自らの地域は自ら守る」精神のもと消防防災活動を行い、私たちの暮らしには欠かせない重要な役割を担っています。

本業を持ちながら、消火・救助活動、避難活動などの災害対応活動だけでなく、防火防災指導、応急手当の普及指導など地域に密着した啓発及び普及活動も行っています。

待遇

活動に対する一年間の報酬や消防団活動を行った場合の報酬を支給します。

万が一、活動中に怪我をした場合には、治療費等が補償されます。

公務内外に問わず、死亡、障害、入院した場合は、見舞金等が給付されます。

5年以上勤務して退職した場合、退職金を支給します。

入団資格

大船渡市内に在住している、もしくは勤務している18歳以上の方であれば男女問わず入団できます。



消防団に興味を持たれた方、入団を希望する方は、地域の消防団員や下記にお問い合わせください。

《問い合わせ先》

大船渡消防署 TEL.0192-27-2119

三陸分署 TEL.0192-44-2119

綾里分遣所 TEL.0192-42-2119



公式 X

消防団公式 X 運用中

日々の活動をご覧ください



次のピースは君だ!!



5年ぶりに開催された大船渡市消防操法競技会では、消防団員の負担軽減の新たな取り組みとして①練習日数・時間の制限、②参加チームの構成、③大会の隔年開催に加え、操作内容の変更が行われる等新たな形での開催となりました。練習期間中は消防団員同士が協力しながら取り組むことで、コロナを機に疎遠になりがちだった消防団員間のコミュニケーションや結束力が深まる貴重な機会となったのではないのでしょうか。

今後も地域防災の要として、住民の皆様へ寄り添う活動を心がけて参ります。皆様の温かいご支援をよろしくお願いたします。

編集後記